

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと 2021年度 活動報告

活動内容

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとでは、親の結婚や就労のために外国から熊本県に編入学してくる子どもたちが適切な日本語指導を受けられないことで進学や就職に支障をきたすことがないように、以下の5つの活動を行っています。

- ① 日本語指導
- ② 進路サポート
- ③ 仲間づくり
- ④ 学習支援と居場所づくり
1) おるがったステーション
2) ひだまり日本語クラブ
- ⑤ 研修会 / 講演活動

①日本語指導「くまもとこどものにほんご」

委託自治体数	児童生徒数
12 自治体	45 名

指導対象の子どもが1人という自治体もあり、県内各地に点在する子どもたちの受け入れ態勢の構築が課題になってきています。併せて年度途中でも速やかに受け入れられる態勢作りも必要です。

また、活動当初は来日したばかりの子どもたちに日本語の基礎を教える「初期指導」がメインでしたが、最近ではダブルリミテッド（二つの言語どちらも年齢相応の言語能力がつかっていない）状態の子どもたちの指導が多くなっています。

小中学校で日本語指導が行われている 熊本県の自治体

- 1) NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとがこれまで委託を受けた自治体（計17自治体）
菊池市、合志市、宇土市、宇城市、山鹿市、玉名市、人吉市、荒尾市、大津町、南小国町、氷川町、菊陽町、益城町、山都町、津奈木町、南阿蘇村
- 2) 市独自で日本語指導を実施している自治体（計3自治体）
熊本市、八代市、天草市

特に2021年度はコロナの影響により、新規来日の子どもたちが少なかったこともあり、教科の日本語の指導の割合が大きくなっています。また、コロナの影響で休校や学級閉鎖になり、予定どおり指導ができなかった児童生徒もいます。委託を受ける自治体も増え、指導する児童生徒数も年々増えているため、新規指導員の養成にも力を入れています。

2021年度は、菊陽町、菊池市、合志市、大津町、宇土市、山鹿市、玉名市、人吉市、宇城市、南小国町、荒尾市、南阿蘇村、の12自治体から日本語指導委託を受けました。また、委託児童生徒（2022年3月現在）は45名でした。ルーツは、中国、アメリカ、フィリピン、ベトナム、オーストラリア、シンガポール、パキスタン、フランス、インドネシア、ネパール、イギリス、カナダ、ポーランド、日本（海外帰国生徒）です。

しかし、熊本県内には日本語指導を行っていない自治体もいまだ多く、困難を抱えている児童生徒がいます。これらの自治体にも働きかけを続け、子どもたちの支援に自治体間格差がなくなるよう活動を続けていきます。

2) 「ひだまりにほんごクラブ」

3歳から高校生まで7人の子どもたちとその保護者が集まり、日本語学習や学校の宿題などを行っています。勉強以外にもカヌーや乗馬体験、クリスマス会など楽しい行事もあります。今年は支援者の畑を借りて、ひだまりファームを作り、みんなで野菜を植えたり、収穫したりしました。



⑤ 地域での研修会・講演活動

- 5/18 熊本県人権同和政策課 人権啓発 web 講座(一般市民)
- 6/22 菊池女子高校 魅力度アップ修行(高校生)
- 7/24 熊本県人権教育研究協議会 課題別研修会(教職員)
- 7/26 菊池市事務職研修会(学校事務職員)
- 7/27 阿蘇市人権・同和教育部会課題別研修会(教職員)
- 8/10 熊本県教育委員会 課題別研修会(教育関係者)
- 10/26 熊本県教育委員会 日本語教育支援連絡協議会(教職員・教育委員会・教育事務所)
- 11/29 熊本県市町村人権研修(行政職員)

2022年度活動予定

- ①「第17回外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」2022年7月3日(日)
- ②「非漢字圏からきた子どもたちのための漢字学習会」長期休暇中(夏、冬、春) ※日程未定
- ③「第15回九州外国ルーツの生徒交流会 in くまもと」2023年3月25日(土)～26日(日)
- ④「おるがったステーション」
学習会@熊本市国際交流会館 毎週日曜日 10:00～15:30
学習会@事務局 毎週土曜日&日曜日 9:00～17:00
- ⑤「日本語指導者研修会」 毎月第3土曜日 10:30～12:00

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとは、外国にルーツを持つ子どもたちの明るい未来を作るために、日本語指導をはじめ、様々な支援を行っています。自治体の委託事業である「くまもとこどものにほんご」以外の、子どもたちの居場所づくり、学習支援に関しましては、多くのボランティアの方々のお力と、皆様のご寄付・ご支援により成り立っております。いただきました寄付金は、子どもたちの学習の場の会場費や、学習教材費などに使わせていただいております。今後とも何卒お力添えをお願い致します。

お願い

口座振込寄付をする

ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)
一七九店 当座 165967
口座番号: 01760-3-165967
NPO 外国から来た子ども支援ネットくまもと

クレジットカードで寄付をする

<https://syncable.biz/associate/shiennetkumamoto>



←寄付ページ QR コード

NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもと

〒861-1102 熊本県合志市須屋 3120-9
代表: 竹村 朋子(たけむら ともこ)
Eメール: shiennetkumamoto@gmail.com

①-2 外国ルーツの子どもへの日本語の教え方講座

外国から来た子ども支援ネットくもとでは、当会の指導者対象の研修会と地域への啓発、研修会、講演などを行っています。コロナの影響で開催した研修会の数は例年より少なくなりましたが、熊本県教育委員会日本語支援連絡協議会で県全体の教職員、教育委員会・教育事務所を対象にした受け入れについての研修会を実施できたことは、大きな成果と言えます。

● 当会指導員研修会 (10 回開催)

対象：当会指導員

内容：指導方法の学習、教材の理解促進、実践報告など

● 地域への啓発、研修会、講演会 (8 回開催)

対象：教職員、教育委員会、学校事務職員、行政職員、高校生

内容：外国ルーツの子どもたちの受け入れ方法、日本語指導の方法の学習、多文化共生についての理解促進

② 進路サポート

2021/7/12 「第 16 回 外国ルーツの生徒と保護者のための進路ガイダンス」を開催！

外国から来た生徒や保護者は日本の高校入試の制度についてほとんど知りません。特に両親とも外国人の場合、言語の問題もあり、子どもの状況を把握できないため不安を感じる保護者も少なくありません。

進路ガイダンスでは教育委員会、中学校、高校の先生方が入試制度の説明を行い、生徒や保護者から個別に具体的な相談を受けています。

2021 年度もコロナ感染予防のため 言語別に【A】(中国韓国ルーツ)【B】(フィリピン、その他) 2 グループに分けて実施をし、20 名の中学生と 17 名の保護者が参加しました。

中学高校の先生、教育委員会、先輩の高校生や大学生、通訳等多くの方がサポーターとして参加していただき、【A】【B】合わせて延べ 123 名の参加がありました。

参加人数 延べ **123** 名

実施内容

- 第 1 部 入試特別措置の説明
- 第 2 部 各校の教員や先輩との個別相談

< 参加者の声 >

先輩と話せてよかった。色々な意見をもらってありがたかった。(中学生)

日本の高校に進学する方法について何も知りませんでした。今回は、通訳の方のおかげでいろいろ学ぶことができました。息子が高校を選び受験する時に手助けをすることができそうです。本当にありがとうございました。(保護者)

外国にルーツを持つ生徒に対しての特別措置、特別配慮について詳しく知ることができた。日頃の配慮が受験当日に非常に影響するので、先を見越して、その子にどのような支援がフィットするのか考えながら、今後も生徒に接したいと思いました。(中学校教員)



③ 仲間づくり

2022/3/26 ~ 27

「第 14 回 九州外国ルーツの生徒交流会 in くもと」を開催！

開催趣旨

- 1) 熊本県内に散在している外国ルーツの生徒の悩みや進路の相談ができるネットワークづくりや仲間づくりの場
- 2) 外国ルーツの生徒を担当している学校の担当者や日本語指導者の情報交換
- 3) 九州全体で外国ルーツの生徒たちや支援者のネットワークづくり



2022 年 3 月 26 ~ 27 日に「第 14 回九州外国ルーツの生徒交流会 in くもと」を開催いたしました。実行委員は NPO 法人外国から来た子ども支援ネットくもと・共に歩み青春を語る会(菊陽町)・FS やつしろ 外国にルーツを持つ子どもたちの会・菊池日本語教室・ひだまり日本語クラブ(山鹿市)・秀岳館高等学校により構成されています。(例年は 1 泊 2 日で行っていましたが、本年度はコロナ感染予防のため、宿泊をせず 2 日間半日ずつの開催となりました。)

1 日目は色々な国の人たちとの班、2 日目はルーツ別の班に分かれて交流し、学校生活や家族関係、日本語学習や勉強についての悩みや将来の夢などをグループに分かれて話し合いました。

④ 学習支援と居場所づくり

1) 「おるがったステーション」

「おるがった」は熊本弁の「私たちの家」の意味です。「ステーション」=「帰るところ」という意味も込めて名づけられた、外国ルーツの子どもたちの学習の場です。

来日直後の子どもたちには、日本語の初期指導をし、初期指導が終了している子どもたちには、学校の授業の内容を中心に国語や算数(数学)などの各教科の学習サポートを行っています(宿題のサポートを行うこともあります)。10~15 名の子どもたちと、サポーター 7~8 名がほぼ毎週参加しています。

最近は小学生中学生だけでなく、高校生の参加も増えてきました。高校受験や大学受験の相談などもあり、子どもたちにとってなくてはならない場所となっています。また、同年代の子どもたちと母語で話せる場所としても大切な場所です。交流を深めるためのお楽しみ会やカヌー体験会なども行っています。

- 学習会 @ 熊本市国際交流会館
毎週日曜日 10 時 ~ 12 時： 中学生教科学習
13 時 ~ 15 時： 小学生教科学習 / 日本語初期指導

- 学習会 @ 当会事務所(合志市)
毎週土曜日・日曜日 9 ~ 17 時： 小中学生教科学習
長期休暇 随時： 小中学生教科学習

